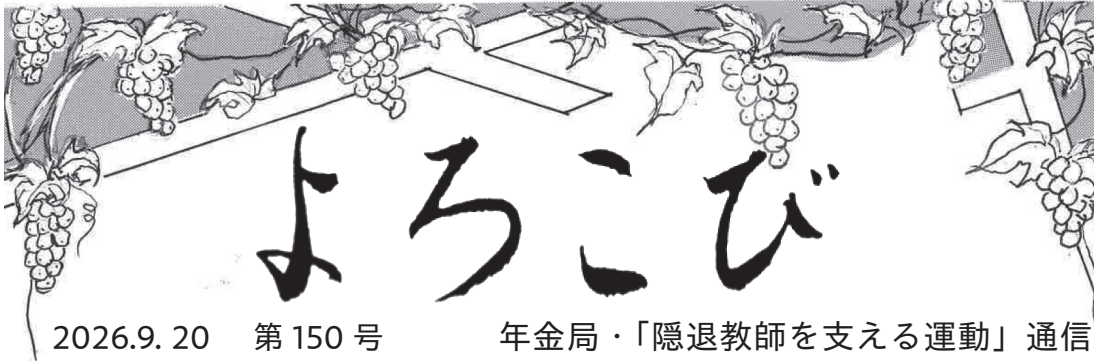




2026.9.20

第150号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

ボタンをつなぐとらうこと

川俣 茂

私が神学校に入学した時、ある牧師が言葉を贈って下さいました。「汝行きて使徒行伝に一章書き加えよ」と。

弟子たちにとっても衝撃的であった主イエスの十字架、そして復活。復活の主イエスが弟子たちに現れ、「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしろ。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共にいる」(マタイ28章18〜20)という大いなる使命を与えました。

一方『ルカによる福音書』・

『使徒言行録』には主イエスの昇天が記されています。主イエスの宣教活動を記す福音書の最後に、また弟子たちの宣教活動を記す『使徒言行録』の冒頭に位置しています。これは主イエスの昇天があつて



川俣 茂 先生

はじめて、本当の意味での「宣教」がはじまるということになります。宣教の中心が主イエスから弟子たちへと交代、ボタンタッチしていったことになります。

弟子(使徒)たちの宣教活動を記す『使徒言行録』は、パウロがローマで教え続けたところで終わっていますが、伝道そのものはその後もずっと続いています。ですから約2000年後の現代社会に生きる私たちにも「福音」は宣べ伝えられ、各地に教会が建てられ、献身者・伝道者が備えられ、受洗者が起こされているのです。とすると当然のことながら、現代を生きる私たちにも弟子(使徒)たちと同じように主の十字架と復活を証しする使命があります。私たちも「主の証し人」として立てられているのです。

この「主の証し人」も弟子たちの時代、初代教会の時代から連綿と、そして絶えることなく立てられ、生み出されています。本当に不思議な出来事です。弱さを抱え、「土の器」である私たちが、です。神から委ねられた使命を共に

担うことが許されているのです。

それと同時に、主イエスは「父が約束されたものをあなたがたに送る」、つまり「聖霊を送る」と約束して下さっています。私たちのために「聖霊を送る」という約束は当然、「伝道」のためであるといえるでしょう。初代教会以来、「福音」、「伝道」、そして「信仰」が継承され、今日に至っている。ですから「福音」、「伝道」、そして「信仰」の継承が、教会にとって基盤の一つとなっているのです。

まるで前のランナーからバトンを受け継ぎ、次の世代へと渡していくようです。しかもそれは連綿と受け継がれてきましたし、また受け継がれていく。その繰り返しこそがキリスト教の、そして教会の歴史であると思います。教職であっても信徒であつてもみな、同じ働きを担っているの

です。

年金局も「隠退教師を支える運動」推進委員会も、設置決定・業務開始からまもなく50年を迎えようとしています。伝道や信仰のバトンに比べたら、まだまだ時間的には短いかもしれませんが、各教会・伝道所でも「1000円献金」の担当者が引き継がれていったように、これらの業も受け継がれてきました。バトンを渡し終えた方も「それで終わり」ということにはならないでしょう。実際の働きは終わったとしても、「その業に携わった」という実績、また趣旨や活動内容、そしてそこに現れた「恵み」を語り伝える、つまり「証し」の生活も待っています。そう考えると、教団年金・「隠退教師を支える運動」にも、多くのバトンが存在し、受け継がれていることに感謝したいと思います。

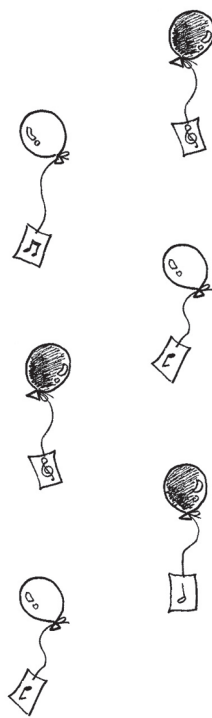
(広尾教会牧師・東京教区主事)

「隠退教師を支える運動」

第3回新任推進員研修会を開催しました

2026年7月17日(金)に、2025年8月以降に当運動の「推進員」になられた方を対象にした新任推進員研修会を開催しました。当運動3回目の推進員研修会であり、今回は、既受講者や受講の機会のなかった方にも参加を呼びかけました。対面・Zoom併用で、推進員等6名、事務局3名、計9名の参加を得て、当運動の沿革・役割、担い手などについて学びと協議を行いました。

(推進委員会事務局)



「新任推進員研修会」に参加して

●支え合うこと●

神奈川教区推進員 川上豊子



川上豊子さん

長年オレンジ色が印象的な「隠退教師のための1000円献金」を続けてはいるものの、この運動の意義や現状について深く関心を持つことはありませんでしたので、今回の研修会が良い機会となりました。

一方、私は数年間携わっていた教区の互助募金委員の奉仕を通して、教職の先生方の生活を支えることを具体的に考える機会を与えられました(互助制度については課題もあり

ますが)。教職の先生を新たにお迎えする就任式では、教員に対しての誓約の中に「生活を守る」ことも触れていました。現任であれ、隠退後であれ、神様と会衆との前で誓ったこの約束を果たすことは、各教会・信徒に与えられた責任であることを強く感じてきました。しかし、それが厳しく困難である現実も見据えなければなりません。隠退した先生を支える一助として各教会が独自の取り組み方でこの運動を広めていくことができればと感じています。

私の教会では今年度、委員長をお招きし、「運動」についてお話をしていただくことを計画しました。直接携わっている方から、この運動の意義や現状などを伺うことにより、理解が深まり積極的に運動に

加わる方が増えますことを願っております。

(かわかみ とよこ／藤沢教会)

●新任推進委員研修会に出席して●

東京教区北支区推進員

白井愛子



白井愛子さん

2025年度の途中から推進員となり、今回初めて研修会に出席させていただきました。仕事の都合で、少し遅れての参加となりました。北支区で長く推進員のご奉仕をなさってくださった方が退かれ、後任がなかなか決まらず、何もわからないまま推進員をお

引き受けいたしました。3月に開催された北支区総会では、年金局からのアピールのときには推進委員の方の横に立っていただけでお恥ずかしいかぎりでした。

隠退なさった牧師先生をお支えする年金制度は、とても大切であることは分かっているつもりでしたが、この制度も難しい状況にあり、謝恩日献金と1000円献金という、信徒の皆様のお支えが必須であることを知りました。多くの信徒の皆様は、年金制度について漠然とご理解なさっています、実情についてご存知の方は少ないと思います。

今後は、教会内、支区内で、「隠退教師を支える運動」を丁寧にお伝えして、謝恩日献金と1000円献金についてお願いしていきたいと考えております。

(しらい あいこ／西片町教会)

業 務 室 よ り

— 年金を受けている方へ —

年金給付のお知らせ

10月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2026年度第2期分給付
(2026年7・8・9月分)

送金日 2026年10月9日(金)
期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2026年12月10日(木)

連絡先・年金振込先の変更は、できる限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れかで、年金局までお知らせください。

☆7月10日の定例給付には、教師退職年金、キリスト教教育主事退職年金、遺族年金合わせて、約1億4百万円を689名の方々にお送りしました。

☆2026年版「受給者名簿」を同封いたします。正確を期したつもりですが、誤りなどございましたらお知らせください。

この名簿は受給者の交わりにお役立ていただくことを目的として作成しています。それ以外のことにはご使用にならないでください。

住所欄の□は、2026年現況届で住所等の記載を望まないと意思表示された方々です。

また、名簿の送付を不要と申し出られた方には同封しておりませんが、ご入用の際はご連絡ください。

2026年版より、年金局内で製本することにいたしました。フォントをユニバーサルデザイン(UD)に変更し、サイズも大きくしました。文字の形が分かりやすいのだそうです。いかがでしょうか？

※不要になった名簿の処理にお困りの場合は、年金局までお送りください。

☆6月25日(木)～26日(金)、第43総会期第4回理事会が開催されました。25日早朝に発生した岩手県沖地震の影響で交通機関に乱れが生じたため、急遽オンライン参加へ切り替える対応も取られましたが、事前予定の4名を含む総勢28名が対面および画面越しに集いました。今回よりオンライン参加者への議決権付与が認められたことを受け、一同の承認を得て議事が進められました。2025年度事業報告ならびに決算報告、監査報告、各委員会報告、2027年度財務計画案が承認され、2日目の昼食前にはすべての議案が承認され、無事に閉会しました。今回は、岩手県沖地震だけでなく、西日本を中心とした記録的大雨と台風7号の接近により、悪天候に向かって帰路につかれる理事の方々だけでなく、家で待ってられるご家族にもご心配をおかけしました。理事の方々の働きが神様に支えられ、みなさまの祈りに支えられた2日間でした。感謝。

☆7月末に発生した熊本地震をはじめ、全国で相次ぐ自然災害により不自由な生活を余儀なくされているみなさまに深くお見舞い申し上げます。

神さまのお慰めと共に復興への歩みに必要な支援が与えられますように、また私たちは関心を持ち続け用いられる機会が与えられますよう切に願い祈ります。

本田由紀子

日本基督教団 年金局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail: nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail: sasae100@uccj.org